

近代①「欧米諸国の近代化と日本への接近」

19世紀の欧米諸国とアジア諸地域の動揺 **A**  7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あ イギリスでは、18世紀に機械などの発明によって生産のしくみが大きく変化するとともに人々の生活も変化した。19世紀になると、欧米諸国は市場の拡大をめざしてアジアでの勢力を広げた。い 中国は、(X) 戦争でイギリスにやぶれ、欧米諸国に侵略されていった。

アメリカ合衆国は領土を広げ、大西洋岸から太平洋岸までおよぶ大国となった。1861年にう 南北戦争がおこったが、このあと、農牧業も工業もさらに発展していった。

(1) 下線あについて、次の問いに答えなさい。

- ① このことを() 革命という。() にあてはまる最も適切な語句を漢字2字で答えなさい。

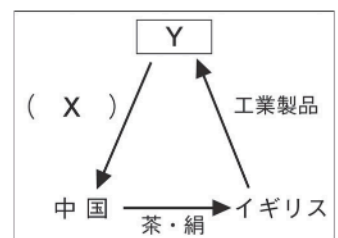
 [1]

- ② このころの生活や社会の変化について述べた文として不適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア すべての土地は国の所有となった。
 イ 多くの人々が、農村から都市へ出て、工場労働者となった。
 ウ 女性や子どもの深夜労働や虐待などの問題が発生した。
 エ 交通機関が発達したことによって、人々の移動が活発になった。

 [2]

(2) 下線いに関して、右の図は、19世紀にイギリスがアジアで行っていた貿易について表している。これを見て、次の問いに答えなさい。



- ① 図中の(X)には文章中の(X)と同じ語句があてはまる。(X)に共通してあてはまる語句をカタカナで答えなさい。

 [3]

- ② 図中のYでは、セポイと呼ばれる兵による反乱がおき、これをしずめたイギリスは支配地域を広げた。Yはどこか。

 [4]

次ページにつづく▶▶▶

③ このときの中国の王朝を漢字1字で答えなさい。

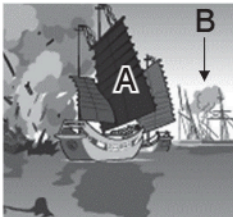
[5]

④ (X) 戦争後に結ばれた条約の内容として不適當なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 中国は上海などの港を開く。 イ 中国はイギリスに領事裁判権を認める。
 ウ 中国は関税自主権をもつ。 エ 中国はイギリスに賠償金を支払う。

[6]

⑤ 右の図は、(X) 戦争のようすを表している。中国の船はA・Bのどちらか。1つ選び、記号で答えなさい。また、そのように判断できる理由を簡単に答えなさい。



記号	[7]
理由	[8]

(3) 下線うについて、次の問いに答えなさい。

① この戦争は、北部と南部の対立から起こった。北部の主張としてあてはまるものを次から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 奴隷制を認める。 イ 自由貿易に賛成する。
 ウ 奴隷制を認めない。 エ 自由貿易に反対する。

[9]

② この戦争中にアメリカで出されたものとして最も適當なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 独立宣言 イ 人権宣言 ウ 合衆国憲法 エ 奴隷解放宣言

[10]

2. 19世紀の世界のようすについて、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文で述べている人物をあとから1人ずつ選び、記号で答えなさい。

- ① ヨーロッパで実用的な蒸気船を開発し、1807年に母国アメリカで公開実験に成功した。
- ② 1814年に実用的な蒸気機関車を発明し、1825年にはイギリスで公共鉄道の開通に成功した。

ア スティーブソン イ マルクス ウ フルトン エ ワット

①	[11]	②	[12]
---	------	---	------

(2) アメリカ合衆国では北部と南部が対立し、1861年に南北戦争がおこった。このときの北部の主張として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 保護貿易を主張し、奴隷制に賛成した。
- イ 保護貿易を主張し、奴隷制に反対した。
- ウ 自由貿易を主張し、奴隷制に賛成した。
- エ 自由貿易を主張し、奴隷制に反対した。

[13]

(3) 小さな国々に分かれてゆるやかに結びついていたドイツでは、首相の（ ）が富ふ国強兵こくきょうへいを進めたプロイセンを中心として1871年に統一国家がつくられた。（ ）にあてはまる人物の名を答えなさい。

[14]
